



2014年3月4日

報道各位

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト  
共同委員長 長谷川 閑 史  
(公社)経済同友会 代表幹事  
柘 植 康 英  
(中部経済同友会 代表幹事)

**IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第5期活動終了のお知らせ**  
**～全国 356 社の参加を得て、被災 3 県の専門高校・大学などに 2.6 億円の支援を実施～**  
**(これまでの支援総額は 13.7 億円に達しました)**

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、犠牲になられた皆様に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

我々、全国の経済同友会は、大震災により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の復興を中長期にわたって支援していくため、「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」を立ち上げております。このプロジェクトは、被災地の人づくりや産業活性化に向けて、被災地に所在する岩手、仙台、福島各経済同友会の協力の下、各県などと協議しながら真に支援が必要な方々に対して、全国各地の企業・個人よりお預かりしたご厚志を半年ごとにお届けするプラットフォームです。真の復興に向けて“一步一步”進んでいってほしいという思いを込め、地域経済を担う若者を育成する農業、水産、工業などの専門高校に震災で失われた実習機材の提供、震災で保護者を亡くされた子どもたちを支える各県の支援基金への協力、新事業創造を担う国公立大学への支援などを行っています。

さる1月31日をもって、昨年9月2日より開始した第5期活動が終了いたしました。企業・法人 356 社、個人 44 名の参加を得て、**第5期分として頂戴したご厚志 2億6,300万1,551円を次頁の通り、それぞれの支援先にお届けさせていただきます。**

本プロジェクトは、震災後5年間にわたり復興に向けた被災地支援を継続していく予定であり、これまでに実施した第1期～第4期の活動と合わせて、支援総額は13.7億円に達しております。3月3日より開始した第6期活動(2014年3月3日～7月31日)においても、全国の企業・個人の皆様にご協力いただきながら、専門高校への実習機材の提供などを実施して参ります。

報道各位におかれましては、「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」の活動趣旨をご理解いただき、ご高配を賜りますようお願いいたします。

■本件問合せ先：

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト運営事務局(経済同友会 事務局内)  
藤井、丹野(Tel: 03-3284-0316/E-mail: [ippo@doyukai.or.jp](mailto:ippo@doyukai.or.jp))

## IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第5期活動概要

(1) 募集期間：2013年9月2日（月）～2014年1月31日（金）

(2) 参加者数：企業・法人356社（添付参照）、個人44名

(3) 寄附総額：2億6,300万1,551円

### (4) 支援内容

#### 1) 専門高校への実習機材の提供

①岩手県立専門高校 7,359万円相当

宮古工業高校（ラジアルボール盤、自動設計製図装置など 3,188万円相当）

大船渡東高校（ロボット学習システム、温室ボイラーなど 1,851万円相当）

高田高校（教師用・生徒用顕微鏡、レーダーなど 1,385万円相当）

久慈東高校（タンク、フィンなどダイビング機材一式 940万円相当）

②宮城県立専門高校 6,663万円相当

宮城県水産高校（食洗機用給湯器他付帯設備設置など 2,283万円相当）

宮城県農業高校（パイプハウス一式、低温貯蔵庫、など 2,236万円相当）

気仙沼向洋高校（集中式溶接ヒューム集塵装置、PCなど 2,143万円相当）

③福島県立専門高校 7,391万円相当

いわき海星高校（播潰機、海図机、電熱オープンなど 5,032万円相当）

小高工業高校（高速液体クロマトグラフ分析装置など 938万円相当）

双葉翔陽高校（トータルサーベイシステム、顕微鏡など 600万円相当）

相馬農業高校（バーンクリーナー 369万円相当）

磐城農業高校（ミニ油圧ショベル 452万円相当）

#### 2) 宮城県教育委員会への支援

第24回産業教育復興フェア 1,587万3,153円

#### 3) 国立大学法人による復興事業への支援

①岩手大学三陸復興推進事業 1,400万円

②東北大学被災地医療体験実習事業 500万円

③宮城大学復興ステーションプロジェクト 1,400万円

### (5) 備考

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、事務作業等に要する費用を（公社）経済同友会が負担し、参加法人・個人からお預かりしたご厚志は、全額、被災地支援にお役立っていたしております。

以上

**IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 活動実績**  
**(第1期～第5期活動の概要)**

(1) 各期における寄附金額 (募集期間)

第1期活動	3億4,150万8,947円 (2011年10月11日～2012年1月31日)
第2期活動	2億6,812万6,113円 (2012年2月20日～2012年6月29日)
第3期活動	2億6,350万2,465円 (2012年8月27日～2013年1月31日)
第4期活動	2億3,447万700円 (2013年3月1日～2013年7月31日)
第5期活動	2億6,300万1,551円 (2013年9月2日～2014年1月31日)
<b>(第1期～第5期 総計)</b>	<b>13億7,060万9,776円</b>

(2) 参加企業数 : 企業・法人356社、個人44名

(3) これまでの支援実績・内訳

1) 専門高校への実習機材の提供

<u>①岩手県立専門高校</u>	<u>3億4,924万円相当</u>
高田高校 (トラック、播漬機、マーク押機など)	6,651万円相当
種市高校 (和船、船外機、潜水実習機材一式など)	5,777万円相当
宮古工業高校 (CADシステム、実習用ミシンなど)	4,787万円相当
釜石商工高校 (情報処理実習用機材一式など)	4,578万円相当
久慈工業高校 (NC旋盤、CADシステム、発電機など)	4,355万円相当
大船渡東高校 (食器類1,833点、精密平面研削機など)	3,962万円相当
一関工業高校 (数値制御工作機)	2,285万円相当
宮古水産高校 (潜水実習機材、トラックなど)	1,282万円相当
宮古商業高校 (POSシステム、音響機器システム)	830万円相当
久慈東高校 (電動介護リフト、たん吸引装置など)	418万円相当
<u>②宮城県立専門高校</u>	<u>3億1,360万円相当</u>
気仙沼向洋高校 (バス、GMDSS無線設備など)	1億2,108万円相当
宮城県農業高校 (バス、旋盤、冷凍冷蔵庫など)	1億1,145万円相当
宮城県水産高校 (バス、クレーン、ヨットなど)	8,107万円相当
<u>③福島県立専門高校</u>	<u>4億2,027万円相当</u>
いわき海星高校 (教習艇、レーダー、海図机など)	1億2,079万円相当
磐城農業高校 (鶏舎用設備、ミニショベルなど)	5,955万円相当
勿来工業高校 (模擬送電実習装置、シャーリングなど)	2,809万円相当
平工業高校 (6尺旋盤、ロードローラーなど)	2,623万円相当
相馬農業高校 (バークリーナー、トラクターなど)	1,918万円相当
白川実業高校 (旋盤、内燃機関実習装置)	2,046万円相当
小高工業高校 (CAD、CAMシステム)	1,840万円相当

塙工業高校（ターニングセンター）	1,807 万円相当
双葉翔陽高校（トラクター、高倍率光学顕微鏡など）	1,532 万円相当
福島工業高校（内燃機関性能実験装置）	1,378 万円相当
郡山北工業高校（立形フライス盤）	1,118 万円相当
会津工業高校（卓上走査型電子顕微鏡）	992 万円相当
二本松工業高校（6 尺旋盤）	846 万円相当
会津農林高校（スピードスプレイヤー）	830 万円相当
福島明成高校（スピードスプレイヤー）	830 万円相当
小野高校（トラクター）	698 万円相当
安達東高校（ダブルキャブトラック）	531 万円相当
喜多方桐桜高校（旋盤）	500 万円相当
岩瀬農業高校（ダンプトラック）	495 万円相当
青陵情報高校（旋盤）	490 万円相当
修明高校（小型貨物自動車）	371 万円相当

2) 宮城県教育委員会 産業教育への支援

・産業教育復興フェア、第 24 回産業教育フェア	<u>2,187 万 3,153 円</u>
--------------------------	------------------------

3) 国公立大学法人による復興事業への支援

①岩手大学三陸復興推進事業	<u>7,771 万 4,771 円</u>
②東北大学	<u>3,922 万 7,022 円</u>
災害復興新生研究機構	1,400 万円
東北未来創造イニシアティブ	1,522 万 7,022 円
被災地医療体験実習事業	1,000 万円
③宮城大学復興ステーションプロジェクト	<u>5,114 万 7,298 円</u>

4) 震災遺児・孤児の支援基金への寄附

①いわての学び希望基金（岩手県運営）	<u>3,156 万 2,567 円</u>
②みやぎこども育英募金（宮城県運営）	<u>3,578 万 9,590 円</u>
③ふくしまこども寄附金（福島県運営）	<u>2,022 万 7,022 円</u>

5) 福島県二本松市

・二本松市放射性物質測定センター	<u>1,000 万円</u>
------------------	-----------------

(4) 備考

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、事務作業等に要する費用を（公社）経済同友会が負担し、参加法人・個人からお預かりしたご厚志は、全額、被災地支援にお役立っていたしております。

以上